

EDIUS Elite/Pro/Neo/Express

EDIT ANYTHING

リリースノート

Software Version 6.55 (b3480) (2014 年 1 月)

更新履歴(不具合修正)

以下の不具合を修正しました。

- K2 SAN にある大量の AVCCAM クリップを一度に選択、右クリックすると EDIUS がフリーズする(Elite のみ)。
- ソースブラウザーを使用して、複数の SD カードから AVCCAM クリップを取り込むと、Bin でクリップのサムネイルが表示されない(Elite, Pro のみ)。
- 当社製ビデオ編集ハードウェア(HDSPARK, STORM MOBILE) が Windows 8.1 環境で使用できない(Pro, Neo のみ)。
- HDWS 3GS ELITE で HD-SDI 入力を使用して、アンシラリーデータ付の MXF ファイルキャプチャができない。
- EDIUS で出力したアンシラリーデータ付 MXF クリップを XDCAM 機器で再生すると、再生機器にてアンシラリーデータが出力されない(Elite, Pro のみ)。
- MPEG2 for XDCAM HD422 をレンダリングフォーマットとして選択すると、レンダリングフォーマットが MPEG2 Program Stream になる(Elite, Pro のみ)。
- タイムラインを AVC-Intra 50 MXF クリップとして出力すると、出力したクリップにノイズが表示される(Elite, Pro のみ)。

NOTE

本バージョンには EDIUS Express 用の修正項目は含まれませんが、Elite, Pro, Neoと共通のファイルになるため、本バージョンを最新版として公開しております。EDIUS Express にて 2013 年 9 月 7 日公開の Ver.1.05 を適用済みのお客様は本バージョンの適用は必要ありません。2013 年 9 月 7 日公開の Ver.1.05 の適用がお済みでないお客様は、本バージョンを適用ください。

更新履歴(2013 年 9 月 7 日公開分の変更履歴)

機能追加

- Windows 8.1 に対応しました(Pro, Neo, Express)。

更新履歴(不具合修正)

以下の不具合を修正しました。

- 「波形キャッシュの作成」オプションを無効にしたエクスポータープリセットが作成できない。
- セグメントエンコードを使用して XDCAM 形式のファイルへ出力すると映像が正常に出力されないことがある(Elite, Pro のみ)。
- シーケンスとして読み込んだ CMF もしくは STRAITS EDL でマッチフレームを実行すると、オーディオトラックパッチが消える(GV STRATUS と連携動作している Elite のみ)。
- EDIUS で出力した AAF を ProTools で読み込むと音声クリップが ProTools 上でオフラインになる(Elite, Pro のみ)。
- 映像 MPEG2、音声 LPCM 形式でブルーレイディスクを作成すると音声再生されない(Elite, Pro, Neo のみ)。
- Windows エクスプローラーからファイルをタイムラインヘドラッグ・アンド・ドロップすると、クリップのドロップシャドウが正しく表示されない。
- MXF インデックスファイル読み込み時に多量のディスクアクセスが発生する(Elite, Pro のみ)。

- XDCAM Professional Disc がドライブにセットされていると、クリップの転送が完了しているにもかかわらず、XDCAMドライブへのアクセスが行われる(Elite, Pro のみ)。
- JVC SDHC カードへ XDCAM EX 形式でファイル出力すると、カードに書き込んだファイルが JVC 製メモリカメラで読み込めない(Elite, Pro のみ)。
- タイムラインで、オンラインの音声クリップに対してオフラインを示す斜線が表示される。
- テープからのバッチキャプチャ時、入力タイムコードが"12:00:00;00"をまたぐとキャプチャが継続できない(Elite, Pro のみ)。
- クリップ名に&文字が含まれていると、プレビュー画面上でクリップ名が正常に表示されない。

制限事項

WMV を HQ へ変換できない

現象	WMV(Windows Media Video)ファイルを Bin 上で HQ ファイルへ変換できない。
回避方法	なし。